コロナ禍と老人クラブ活動



兵庫県老人クラブ連合会　会長　**中村 美津子**

年ごとに厳しさを加える夏が過ぎましたが、会員の皆様には、お元気でお過ごしでしょうか？

さて、現在、日本で、いや世界で、新型コロナウイルス感染症が極めて深刻な問題となっています。

幸い、私たち高齢者はかなりの方々がワクチン接種を済まされておりますが、ワクチン接種後の感染報告事例や、感染力の強い変異株への懸念などもあり、未だ全体としての終息は見通せず、私たちの社会や人々の活動は、極めて大きな制約を受けております。

このことは、視点を変えれば、これまで私たちが疑うことなく信じてきた『自由』がコロナによってそのあり方が問われている、と言い換えることができると思います。

日本は法による強制ではなく、国や市町からの自粛依頼に応じる形で、マスク着用や消毒も徹底された結果、感染者数や死亡者数は欧米各国と比べ低く抑えられ、欧米のロックダウン(都市封鎖)に匹敵する状況を国民の力で作り上げました。

こうした国民一人ひとりの合理的な判断に基づく協調的で賢明な行動は、世界に誇れる日本の強みではないかと思います。

しかし、コロナ禍のいつ終わるでもない制約状況の継続は、人と人との交流や経済活動に取り返しがつかない深刻な影響を及ぼしつつあります。

同様のことが、私たち老人クラブにも言えると思います。感染を恐れるあまり、家の中に閉じこもってばかりでは、気分も滅入ってしまいますし、運動の低下による筋肉の衰えや認知症の進行などは、高齢者にとっては、感染以上の由々しき問題です。

また、個人の活動の低下は、老人クラブの存在意義そのものの低下にも繋がります。

人と人とが交流がしたくともできない現状は、老人クラブ活動にとって、一番の試練のときです。しかし、この大変な時にこそ、改めて、老人クラブ活動の意義や本当の良さ・楽しさを見つめ直し実感する好機でもあると思います。

現在、県老連では、会員の皆様のワクチン接種を前提として、感染対策の万全を図りながら、可能な限りの事業を進めていきたいと考えております。もちろん、感染状況等、今後の推移を冷静に見ながら、国や兵庫県の施策・指導に適合しつつ、今できる活動を着実に進めて参りたいと決意を新たにしております。

さあ、老人クラブの仲間と一緒に、「楽しくなる・夢中になる・笑顔になる」を活動スローガンに、笑顔をいっぱいに浮かべ思いっきり、おしゃべりやスポーツ、様々なイベントを一緒になって楽しみ、健康で幸せな毎日の生活を過ごしましょう!!